

第9期計画の体系図【案】についてのご意見

基本目標	施策名	施策の方向性	ご意見	回答
基本目標3	一般介護予防の充実	多種多様な通いの場の創出を進めます	「通いの場」ではなく「高齢者の居場所づくり事業」という具体的表現で、実現を推進してはどうか。#1	「通いの場」については、「地域の住民同士が気軽に集い、一緒に活動内容を企画し、ふれあいを通して『生きがいづくり』『仲間づくり』の輪を広げる場所。地域の介護予防の拠点となる場所」と厚生労働省が定める考え方を、区でも用いています。 活動や取組内容をも含んだ「居場所」よりもより能動的な表現として捉えており、これまで継続的に用いている表現でもあることから、引き続きの活用をもって、更なる認知度向上へとつなげていきたいと考えております。
基本目標4	多様な主体が参画する地域づくりの支援	高齢者を中心とした地域の多様な主体が集い、活動する拠点を構築します	高齢者を中心とした地域の多様な主体が集い、活動する高齢者を10%増やすという目標を表示してはどうか。#2	各施策については、定量的な具体目標を設定するには至っておりませんが、拠点の構築とともに、高齢者の参加を促すような手法等の検討も図ってまいります。 なお、健康日本21では「社会活動の参加」を焦点としていますが、区では、高齢者福祉施策につながる「(高齢者が)集い、活動する拠点」として捉えています。

#1

高齢社会対策要綱の周辺資料を読むと、近年は「居場所」という表現が使われている。
また、高齢者の介護予防や地域活動を促す事業、子どもの居場所づくり事業と包括的支援で、成功例もあるようです。

#2

健康日本21に2024年～2032年までに社会活動に参加している高齢者を10%増加させることを目標とする、とあるように拠点ではなく人数の目標を設けた方が良いのでは。

第8期計画から継続する事業・取組等についてのご意見

題	ご意見	回答
基本目標1 1	<p>大田区の高齢者(65以上)は、16万人程度で、令和4年高齢者一般調査によるシニアクラブへの参加状況が、4.4%だとすると7,000人強ということになり、大雑把だが会員数の半分は、シニアクラブを居場所としていないことになり残念です。 次期も高齢者の社会参加者を増やす対策をしっかりと継続して欲しい。</p>	<p>いただいたご意見は高齢者等実態調査の高齢者一般調査における「地域活動への参加状況」について、シニアクラブに回数の頻度によらず参加されている方の割合をもってのものと解します。 調査時においては、コロナ禍の影響で参加の自粛もあったとのことであり、このために回答率が低くなったことも推察されます。 なお、高齢者一般調査は、要介護認定を受けていない高齢者のみを対象とした調査であるため、母数は区内65歳以上高齢者(約16万4500人)とは異なるものとなります。 シニアクラブ会員数については、連合会主催イベントの支援や、クラブ運営の支援などを通じ、新たな会員獲得につながるように事業を推進してまいります。</p>
居場所としての施設	<p>大田区の一部の施設の老朽化が進んでいるのは理解できるが、高齢者の居場所(図書館も)として、高齢者が必要な、手すりのある洋式トイレ(男性用サニタリーボックスも)、靴のまま利用できる仕様、部屋のテーブルと椅子仕様、段差をなくす等、少しずつでも改装し快適性を確保することを、今後、盛り込めないか。</p>	<p>高齢者福祉施設を含む公共施設については、必要に応じたバリアフリー化を施していくものとなります。 おおた高齢者施策推進プランについては、施設整備に係る内容を定めることは想定していませんが、区の施設整備に関する方針や考え方等を踏まえながら、利用者の利便性向上に資する事業展開、施設整備を検討してまいります。</p>
ITCの活用促進を図る取り組みを高齢者の社会活動に繋げる支援	<p>「高齢者向け事業については、現在実施しているスマートフォン体験会や相談会などのICTの活用促進を図る取組」について、実施枠が埋まらない状況が見られるので、区民に周知(これまでより区報への掲載頻度数を増やす)し参加促進を図って欲しい。(高齢者が、SNS(で電話、ビデオ)や、メール(に添付、リンク、アプリで開く)が出来ないことによって、社会参加や人的交流から弾かれる状況が見られる) 「60歳代のインターネット利用者は8割を大きく超えており」と、ありますが、高齢者のスマートフォンのインターネットに使えるデータ契約量は、1ギガ～3ギガ程度で、自宅にWi-Fi契約がない人も多くみられる。 高齢者の「通いの場」にもWi-Fiの支援の必要性を感じる。</p>	<p>高齢者のICT活用が推進されるよう、スマートフォン体験会・相談会等事業の一層の普及啓発を図ります。また、ICT活用につながる環境整備の考え方などについても、検討を行ってまいります。</p>